

緑のカーテン取り組み情報



お名前	山梨県立八ヶ岳自然ふれあいセンター（北杜市） （指定管理者：公益財団法人 キープ協会）		
育てた植物の種類	花豆、茂倉うり		
設置場所	センター南側デッキ		
カーテンの大きさ	高さ：約 1.6 m, 幅：約 7 m	取り組み年数	3年目

緑のカーテンの効果

日差しを除けるためというよりは、夏期期間の7月～8月における約3万人の来館者への地元特産の作物の紹介と、視覚的な癒し効果を期待して設置しています。来館者からは「花豆は？」、「茂倉うりはどのように食べるの？」などの質問をいただくこともあり、来館者への話題提供と涼やかさの演出に効果があったと考えます。（作物ごとの説明文を掲示しています）

育てる際の工夫・苦労

一昨年南側デッキには、緑のカーテンの設置を試みていますが、市販のゴーヤ・朝顔・へちまなどは、葉を育ててカーテン状にするには気温や日照などが不十分です。植物は、標高1,300m以上の土地でも成育可能な地元産の花豆と早川町の茂倉うりを選び、デッキフェンスに沿わせて葉を茂らせるようにしました。

また、今年は梅雨明け前に、茂倉うりにうどん粉病が出たため、木酢液を散布しました。土づくりには、ペレットストーブの灰を活用したり、支柱には竹の小枝を利用しています。

感想・楽しみ方など

緑の葉が風にそよぐ様を見ると、土づくり・育苗など苦労した甲斐があったと思います。来年のシーズンに向けて、種も採取できればと期待しています。